

環境負荷低減の取り組み

「セブンカフェ」の“コーヒーかす”をリサイクルして作られた セブン-イレブン店舗清掃用の「消臭除菌剤」を導入

－6月よりセブン-イレブン店舗にて導入・使用を開始－

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋一樹）は、「セブンカフェ」の販売に伴い発生する“コーヒーかす”をリサイクルして作った『セブンカフェのコーヒーかすをリサイクルした消臭除菌剤』を、6月8日（木）よりセブン-イレブン全店（4月末現在 19,453店）の店舗用清掃用品として導入いたします。

年間約10億杯を販売する「セブンカフェ」は、1杯ずつコーヒー豆を挽き、ドリップ方式で抽出されており、販売と同時に一定量の“コーヒーかす”が発生します。その消臭成分に着目し、これまで廃棄処分してきた“コーヒーかす”の一部をリサイクルして、消臭除菌剤を開発しました。優れた臭気対策製品を製造している無臭元工業株式会社様や、リテールシステムサービス株式会社様とともに、今回の消臭除菌剤を開発いたしました。

セブン-イレブンでは、今後も「近くて便利」なお店を目指すとともに、社会や環境などあらゆるステークホルダーに配慮し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

＜概要＞

国内初の取り組み

＞使用済み“コーヒーかす”を使用し消臭除菌剤を開発

『セブンカフェのコーヒーかすをリサイクルした消臭除菌剤』

- ◆国内で初めて、使用後の“コーヒーかす”を「エコ物流※」で回収し、抽出した消臭成分から開発した消臭除菌剤を実用化。店舗で発生した“コーヒーかす”を店舗でリサイクルする取り組みを実現。
- ◆ドリップ方式で高品位の豆から抽出する「セブンカフェ」の“コーヒーかす”だからこそ実現できる、高い消臭能力をもった消臭除菌剤。
- ◆エスプレッソ方式に比べて消臭成分が多く残る“コーヒーかす”を再利用。「コーヒー酸」「キナ酸」などの消臭成分を抽出。



▲製品イメージ
※店舗清掃専用
※非売品です



※エコ物流：セブン-イレブンの廃棄物一元管理システム